

※「～朝」は「～天皇の朝廷」の略

6世紀のヤマト政権と東アジア (古墳時代後期)

《朝鮮半島の情勢》₁高句麗の南下→百済・新羅を圧迫→₂百済・新羅が加羅(任那)を侵略

《倭(日本)》王権の弱体化・豪族の対立…危機的状態

3 継体 **大王** 前の大王でそれまでの男系が断絶→越前(?)から迎えられる 権威の低下

512. ₄任那四県割譲事件…百済が加羅の一部を占領
ヤマト政権も同意→責任者の **5 おおとものかなむら 大伴金村** (大連)のはちに失脚

527. ₆新羅が加羅へ侵入→ヤマト政権、出兵を計画

→ **7 磐井** の乱(527～28)…筑紫 **8 くにのみやつこ かほね きみ 国造** (姓は **9 君**) が新羅と結んで抵抗

→ **10 おおむらじ 大連** **10 物部麁鹿火** が中心になって鎮圧 磐井の子は **11 みやけ 屯倉** を献上して服属

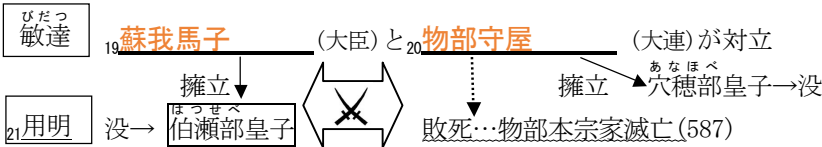
※ **12 岩戸山古墳**[福岡] (**13 石人・石馬** 176m)は磐井の墓と推定

※これ以後、地方反乱は沈静化し、前方後円墳築造も衰退

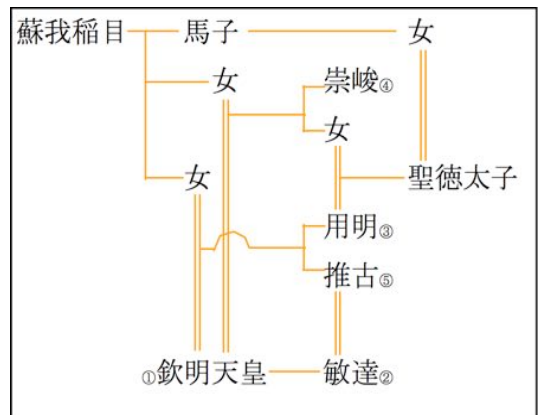
15 欽明 **16 蘇我稲目** (大臣)と **17 物部尾輿** (大連)が対立

538. 仏教公伝→崇仏論争…蘇我稲目ら(崇仏派) ↔ 物部尾輿ら(排仏派)

562. **18 加羅滅亡**…朝鮮半島での拠点を失う



22 崇峻 587～592 → 馬子と対立し、暗殺される



7世紀前半(推古朝)の改革

《中国》23 隋の成立[581]…強力な中央集権国家(律令制)→24 南北朝統一[589]

東アジア諸国の脅威 <例> 隋による25 高句麗遠征

26 推古 592~628 初の女帝(敏達の後后)

27 蘇我馬子…大臣 推古の叔父 物部衰退により大連不在→巨大な権力

28 厩戸王 (29 聖徳太子)…593. 摂政(?) 用明の皇子、推古の甥、馬子の婿

共同統治? 対立?

[1] 30 冠位十二階 [603]…冠の色で序列

31 徳・仁・礼・信・義・智×2(大小) 才能・実績に応じて32 個人に与える

目的 ①33 官僚の序列を明確化 ②34 人材登用

限界 ①35 従来の姓も存続 ②皇族と蘇我氏は対象外(別格?)

[2] 36 憲法十七条 [604]…最古の成文法(ただし偽作説あり)

内容 37 和の精神(1条)、38 仏教の尊重(2条)、39 詔(天皇の命令)への服従(3条)など

全体に 40 外来思想(儒教・仏教・法家思想など)の強い影響

限界 41 罰則はなく、あくまでも官僚(豪族)としての心構え

[3] 外交 (a) 42 任那復興→新羅遠征計画(600, 602, 604)→失敗または中止

(b) 43 遣隋使の派遣…44 「隋書」倭国伝及び『45 日本書紀』

600, 607, 608, 614年の4回(600年の遣使は「日本書紀」に記載がない)

46 607年47 小野妹子らを派遣→隋の48 煬帝は国書の内容に憤慨する

が、翌年答礼使49 裴世清を派遣(妹子と共に倭へ) ※高句麗への牽制

目的 ①50 国際的地位の向上…冊封(称号を受ける)から51 対等外交へ

②52 文化の直接摂取 →大化の改新へつながる

留学生 <例> 53 高向玄理、学問僧 <例> 54 旻・55 南淵請安

[4] 歴史書の編纂…『56 天皇記』『57 国記』620年完成(太子・馬子が協力)

目的 神話・伝承も含めて、天皇家と他氏との関係の整理 ←国家意識の高揚

ただし現存せず(645年のクーデターの際、蘇我蝦夷邸の炎上とともに焼失)

※58 天皇の称号の成立?…推古朝説と天武朝説がある

※聖徳太子622年没、蘇我馬子626年没、推古天皇628年没 →再び内政の混乱

正誤問題練習 <大学入試センター1998年日本試験、1995年追試験より>

①倭王の系譜や伝承などを記した『天皇記』や『国記』が、**5世紀**のころまとめられた。

②7世紀には、**小野妹子**などの留学僧が中国に渡り、仏教思想を学んだ。

2018日本史B(久下)授業プリント古代2 大化の改新の始まり

3年 組 番 _____

[月 日]

【中国】隋の滅亡→1唐の統一[618]…強力な2中央集権国家体制の確立

<例>律令制(法)・均田制(土地)・租庸調制(税)

☆3遣唐使の派遣 …第1回 (4630年)は5犬上御田鍬

留学生や学問僧の帰国→情勢・制度・文化を伝える

<例> 6高向玄理・7旻・8南淵請安 …なかのおえのおうじ中大兄皇子・なかとみのかまたり中臣鎌足・いるか蘇我入鹿らが学ぶ

☆蘇我氏の勢力拡大…皇位継承にも介入 ※蘇我馬子→9蝦夷→11入鹿

…推古の死後、じよめい舒明(敏達の子孫)を擁立

大化の改新 唐をモデルに中央集権国家体制の形成を目指す

12皇極 642～645 舒明の皇后 いたがきのみや飛鳥板蓋宮

643. 大臣 13蘇我入鹿、14山背大兄王 (聖徳太子の王子)一族を滅亡

→15古人大兄皇子(舒明の皇子、母は蘇我馬子の娘)を次期天皇に推す

16645. 17中大兄皇子・18中臣鎌足らクーデター(19乙巳の変)

蘇我20入鹿暗殺・蝦夷自殺→蘇我本宗家滅亡 皇極は退位、古人は出家→吉野へ

21孝徳 645～654 皇極の弟 …中大兄皇子は22皇太子として執政

(a)新しい政治 …645. 年号の制定(?)…23大化

・人事 左大臣…24阿倍内麻呂 右大臣…25蘇我(倉山田)石川麻呂

26内臣 (国政の補佐)…中臣鎌足 27国博士 (政治顧問)…28旻・高向玄理

・29難波宮 (30難波長柄豊碕宮)へ遷都[645]

・31改新の詔 [32646]…新政 (33大化の改新)の方針

①部民制の廃止→34公地公民の原則…35食封(上級役人へ)・布帛(下級役人へ)の支給

②行政・軍事・交通制度 ③土地人民の支配体制 ④統一的新税制(調・庸)

※『日本書紀』編纂時など、後世の修正をかなり受けている。偽作(又は一部改作)説もある。

<例> 改新の詔は「国」の下の行政区画を「36郡」としているが他の史料では「37評」

→木簡などで「評」が正しいことが判明(大室令[701]の前後で用字が変わる)…郡評論争

・38冠位制度の改革 十二階→十三階[647]→十九階[649]→…

・大化の薄葬令[646]…古墳の規格などの制約 →古墳の小型化

(b)対抗勢力の粛清 645. 古人大兄皇子→× 649. 蘇我石川麻呂→×

653. 天皇、皇太子と不和→天皇孤立(皇太子ら飛鳥へ)→没

(c)東北への支配の拡大…東北の39蝦夷(朝廷に従わない人々)への征服

<例> 40湍足柵・41磐舟柵 (現在の新潟県)の設置

42 **齊明** 655～661 皇極がふたたび皇位に… 43 **童祚** 都は飛鳥にもどる

(c) 東北支配の拡大：44 **阿倍比羅夫** の派遣→蝦夷・^{みしはせ} 肅慎を征討(658～660)

(b) 658. 45 有間皇子(孝徳の皇子)→×

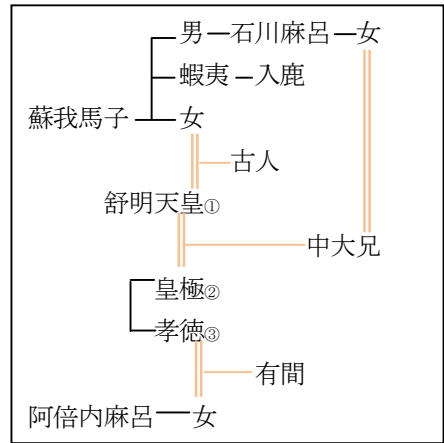
★660. 46 **百濟滅亡** ←47 唐・新羅連合軍

 48 高句麗の孤立を図る

→日本、百濟復興に救援軍を派遣

→齊明天皇、自ら九州(49 朝倉宮)へ

→天皇没[661]→中大兄皇子 50 **称制** (即位せずに執政)



正誤問題練習 <大学入試センター1998年度日本試験[改]、1997年B追試験より>

(1) 孝徳天皇が即位する直前に、蘇我氏の中心人物であった蝦夷・入鹿父子が倒された。

(2) 7世紀半ば、蝦夷に対する前線基地として、太平洋側に淳足・磐舟の2柵が設けられた。

国際情勢の緊迫化と改新の展開

663. 2 **白村江** の戦い…3日本・百濟軍、4唐・新羅連合軍に大敗

影響 ①日本、5朝鮮半島から完全に撤退

☆その後、6高句麗が滅亡[668]→7新羅、唐の勢力を追い出して朝鮮半島統一[676]

- ②防衛強化
 - ・北九州(大宰府)に8**水城**、各地に9**防人**・飛火(烽)の設置
 - ・10**朝鮮式山城** <例>11大野城[福岡]、基肆城[佐賀]、高安城[奈良]
 - ・12**近江大津宮**へ遷都[13667]…要害の地 交通の便 人心の一新

③豪族への懐柔策 <例> 部曲の一部承認(復活?)

14 **天智** 668~671 中大兄皇子、近江大津宮で即位

- ・15**近江令** 制定[668]…現存せず(存在に疑問あり)
- ・16**庚午年籍** [670]…初の全国的戸籍 氏姓の根本台帳 永久保存が義務

鎌足没[669]…直前に17大織冠(最高の冠位)と18藤原姓を与えられる

天智没[671]→後継者問題→19**壬申の乱** [20672]

21**大友皇子**…天智の皇子・太政大臣 畿内の大豪族中心 即位?(弘文天皇)

22**大海人皇子**…天智の弟 23東国の豪族・大伴氏 吉野宮へ脱出→さらに東国(美濃)へ

勝利

24 **天武** 673~686 25**飛鳥浄御原宮**へ遷都

- ・26部曲の廃止[675]…公地公民の徹底
- ・27**飛鳥浄御原令の編纂**(681~)…現存せず 律なし
- ・貨幣の铸造…28**富本銭** (1999年に明日香村で発見)
- ・29**八色の姓** [684]…身分秩序の再編

30**真人**(皇族近親の豪族)、31**朝臣**(もと臣姓のうちの有力豪族)、
 32**宿禰**(もと連姓のうちの有力豪族)、33**忌寸**(もと直姓の豪族)、道師、臣、連、稻置

・神社祭祀の重視 ※壬申の乱が契機

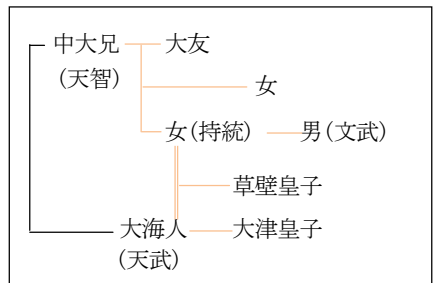
<例> 34**伊勢神宮**の整備…20年式年遷宮、未婚の皇女を伊勢斎王に

35**大嘗祭**…新天皇即位直後の新嘗祭

・36**国史**(歴史書)編纂の開始…「帝紀」「旧辞」の整理 →古事記・日本書紀へ

・37**皇親政治**…政治は天皇・皇后・皇子主導 →天皇權威の高まり (38「天皇」の使用開始?)

※天皇没[686] →後継者争い…39**大津皇子** VS 40**草壁皇子**



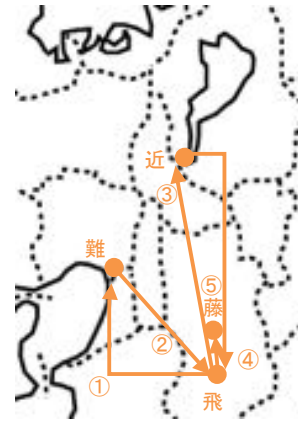
41 持統

686～697 天武の皇后

当初(686-689)は⁴²称制→草壁皇太子没→即位

- ⁴³飛鳥浄御原令の施行 [689:称制期間中]
- ⁴⁵庚寅年籍の作成[690]…以後恒常的に(6年毎)
→全国的な班田収授の実現
- ⁴⁶藤原京へ遷都[⁴⁷694]
- …中国風の⁴⁸都城制を採用(北魏の洛陽がモデル)
大和三山に囲まれた広大な京城 ⁴⁹大和の古道を利用
うねび みみなし あまのかぐやま
敵傍・耳成・天香久山 ※最近の研究で京城の見直し
- ⁵⁰皇親政治の継続 <例> 高市皇子(天武の皇子)を太政大臣

作業 宮都の変遷①



図表を見て、飛鳥、難波宮、近江大津宮、藤原京の位置を記入し、順序が分かるように矢印で示せ。

51 文武

697～707 草壁皇太子の子、持統の孫

… 譲位して⁵²太上天皇(⁵³上皇)

☆天武以降、天皇の神格化が進む…当時の歌に「⁵⁴大君は神にしませば」の常套句

<例> 大君は神にしませば赤駒のはらばふ田井を都になしつ<大伴御行>

大君は神にしませば水鳥の巢だく水沼を都となしつ <よみ人知らず>

正誤問題練習 <大学入試センター1990年本試験、1992年本試験より>

(1) 壬申の乱の終了後に、八色の姓が定められ、諸豪族は新しい身分秩序に編成された。

(2) 持統天皇のもとで、初めての全国的戸籍である庚午年籍ができた。

2018日本史B(久下)授業プリント古代4 飛鳥・白鳳文化

3年 組 番

- ☆ 7世紀の文化
 - (前半) 7世紀前半 推古朝中心 …₁飛鳥文化
 - (後半) 7世紀後半～8世紀初 天武・持統朝中心 …₂白鳳文化

飛鳥文化 ※飛鳥は地名

特色

- ①₃日本初の仏教文化←蘇我氏・聖徳太子の保護政策(594. 仏法興隆の詔)
 - 権威の象徴(先進技術 <例> ₄礎石建ち・₅瓦葺)や呪術の一種(病気の回復など)として受容
 - ※₆氏寺 …₇法興寺(₈飛鳥寺) …蘇我氏 ₉広隆寺(太秦寺) …秦氏
 - ₁₀法隆寺(₁₁斑鳩寺) [607]・₁₂四天王寺(荒陵寺) …天皇家(聖徳太子)
- ②₁₃渡来人が主な担い手 ……………
- ③ 中国₁₄南北朝文化の影響…朝鮮諸国経由→新羅・百済の影響が強い。
 - <例> ₁₅百済僧₁₆勸勸 が暦を、₁₇高句麗僧₁₈曇徴 が彩色・紙・墨をもたらす
- ④₁₉国際色豊か…ギリシア・ペルシア・中央アジアなど
 - <例> エンタシス(法隆寺中門の柱など) 忍冬唐草文様…古代オリエントから伝来
 - 法隆寺獅子狩文様錦…ライオン 法隆寺竜首水瓶…ペガサス

建築

- 法隆寺 中門・₂₀五重塔・₂₁金堂・回廊 ※これらの配置を₂₂伽藍配置 という
- ☆再建か非再建かで論争…現在では₂₃再建説が有力 ←₂₄若草伽藍跡の発見(1939)
- ☆南北朝(六朝)様式が残る <例> 卍崩しの勾欄、人字形割束、雲斗、雲形肘木
- ※伽藍配置の変遷 <例> 塔が中央から外部へ(重要度の低下)
- 飛鳥寺式・四天王寺式・法隆寺式→薬師寺式→東大寺式・大安寺式

仏像

- ☆材質は ₂₅金銅像(銅像の表面を鍍金)または ₂₆木像(ほとんどがクスノキ) 表面に金
- ₂₇北魏(北朝)様式…杏仁形目・仰月形唇・アルカイックスマイル(古拙的な微笑)・左右対称など
- <例> ₂₈法隆寺金堂釈迦三尊像[金銅]…₂₉鞍作鳥(止利仏師)作
- ₃₀飛鳥寺釈迦如来像(飛鳥大仏)[金銅]…現存最古の仏像(ただし一部)
- ₃₁法隆寺夢殿救世観音像[木]…明治初めに₃₂フェノロサらが調査した秘仏
- 法隆寺金堂薬師如来像[金銅]…光背に「天皇」の銘文あり

₃₃南梁(南朝)様式…自然な表現 側面を重視

- <例> ₃₄法隆寺百済観音像[木] ₃₅中宮寺半跏思惟像(弥勒菩薩像)[木]
- ₃₆広隆寺半跏思惟像(弥勒菩薩像)[木(アカマツ)]…新羅系? 韓国によく似た像がある

その他

- ₃₇法隆寺玉虫厨子 …工芸品 仏像を納める
- ₃₈須弥座絵・扉絵…密陀絵(油絵の一種)の技法 捨身飼虎図など仏教説話
- ₃₉中宮寺天寿国繡帳…現存最古の刺繍 聖徳太子の死を悼んだ妃の橘大郎女による
- 『₄₀三経義疏』…聖徳太子による法華経・維摩経・勝鬘経の注釈書